

認知症に関する活動計画（概要）

【事業目的】

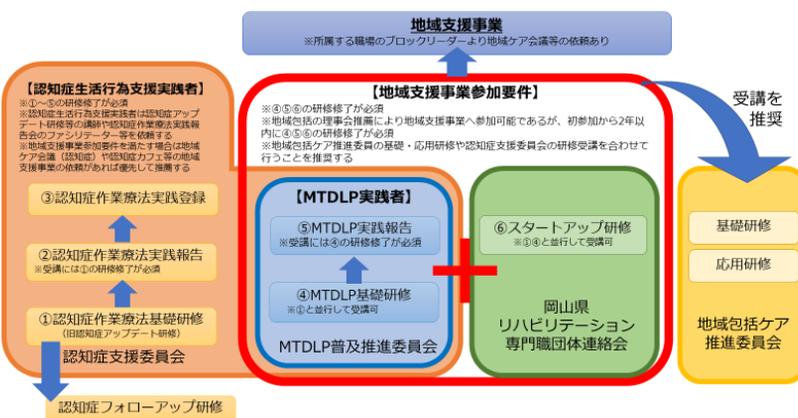
認知症の人が尊厳を持って認知症とともに生きることや認知症になっても進行を緩やかにすることに資する作業療法士を育成し、認知症があってもなくても同じ社会でともに生きる社会の実現に向けた地域貢献活動や調査・研究を実施する。

【活動内容】

人材育成事業として3つの研修会（認知症作業療法基礎研修、認知症フォローアップ研修、認知症作業療法実践事例報告会「GP報告会」）を開催している。また、県士会員や認知症支援実践者による認知症関連活動や地域支援事業への参画状況の調査をおこない、行政、関係団体へ認知症作業療法の広報活動と連携強化していく。今後は認知症作業療法のエビデンス構築のための実践事例の集積や研究等を進めていく。

人材派遣事業

認知症生活行為支援実践者及び地域支援事業参加要件 養成研修構図



地域支援事業へ参画できる人材育成のため、認知症の疫学から地域実践まで領域に関わらず参加できる研修会を開催している。昨年度の参加者は基礎研修13名、フォローアップ研修18名、GP報告会は参加希望者がなく開催できなかった。今後は、県士会員のニーズにあった研修体制について検討していく。

認知症の人と家族の会との連携事業

「認知症の人と家族の会 岡山県支部」が運営している**若年性認知症の人と家族の集い（ひまわりの会）**に県士会員を延べ7名派遣し、家族や当事者の方々と交流を深めた。また、同支部が開催している家族介護教室での講師依頼を受け、県士会員1名を派遣した。「作業療法士の視点を生かした生活支援のコツ」をテーマに講演した。

広報連携事業

昨年に引き続き、認知症オレンジパートナー主催「認知症になっても暮らしやすい社会を作る」をテーマに岡山県内の看護・福祉科の大学生が主体となって行うイベントに県士会員2名が**オブザーバーとして企画会議から参加した**。当日は若年性認知症の当事者をお招きし、当事者との関わり方、今後の目標などについて対談形式で参加者と交流し、学生が作成した認知症啓発ポスターを展示した。

